

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ **学校力向上プラン**【 学校評価書 】

堺市立五箇荘東小学校
校長 卜部 啓一

平成30年度 重点目標

「自ら学び社会で生かす『総合的な学力』の育成」「自立をはぐくむ特別支援教育の推進」「豊かな人権感覚と道徳性の育成」「秩序と活気のある学びの場づくり」「体力の向上と健康的な生活習慣の確立」「安全・安心で良好な教育環境の整備」を本年度の重点課題とし、「深めよう みんなのつながり チーム五箇荘東」を重点目標に、本校の教育目標「よく考え想像力のある子」「みんなと仲良く思いやりのある子」「健康で最後までやりぬく子」の育成をめざす。

大項目	中項目	具体目標	評価項目 (取組、成果・状態)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	達成状況 (年度末)		
							自己評価	学校関係者評価	
確かな学び	総合的な学力の育成	「教科学力」「学びの基礎力」「社会的実践力」をバランスよく育成する	五箇東スタンダードや東っ子ノートの使い方を徹底し、学習習慣や学習規律を確立させ基礎基本の定着を図る	基礎基本問題の正答率が昨年より上回る生徒の割合が増加	学びの診断 定着テスト	毎学期 年度末	△	基礎基本問題の正答率は80ポイントを超えているが昨年度とほぼ同じ割合である。	△ 学びの診断結果がどの学年も堺市平均を上回っているが、基礎基本をもっと徹底する必要があると感じる。 △ 授業以外でも、スピーチの場面や発表の機会がたくさん設定されている。
			授業だけでなく、朝の会・帰りの会でのスピーチや振り返り、学年集会、詩の会での発表など、様々な場面で「伝え合う場」を設定する	「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」等の肯定的な回答が昨年度より増加	学びの診断 全国学力・学習状況調査	年度末	○	「自分の考えや意見を発表する機会が与えられ得意である」と回答した児童は、堺市平均、本校の昨年より1ポイント程度上回った。	
	授業改善	五箇荘東スタンダードに基づき、子どもたちの「伝え合う力」を育成するために、自ら伝え、深め合う授業づくりをめざす	各学年、年1回以上の研究授業を実施し、全教員で研究討議を行い授業力を向上させる	各学年、年1回以上の研究授業を実施している	実践報告	各学期	○	各学年とも1回の研究授業を実施し、研修テーマの「伝え合う力の育成」に向けて研修を行った。	○ 授業参観を通して、子どもたちが落ち着いて学習に取り組む、しっかりと発表できていることがわかる。
			授業において、自分の考えを伝えたり他者の意見を聞く場面を取り入れる	「友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができる」や「話し合う活動をよく行っていますか」の肯定評価が昨年度より増加	学びの診断	年度末	○	「自分の考えを持つ」や「話し合う活動」はどちらも3ポイント程度減少したが、80ポイント以上の肯定評価がある。	○ 各クラスの先生の授業の進め方によって子どもの学習意欲の違いが見られることもあるので、今後も全教員が考えを深めるための授業改善に努めることが大切だと思う。
			考えを深め、広げる交流活動や自らの学習をふりかえる場を意図的に取り入れる	「話し合う活動で自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」で肯定評価が昨年度より増加	学びの診断	年度末	◎	また、「自分の考えを深める」は2ポイント増加し、考えを深める授業が定着しつつある。	◎
豊かな心 健やかな体	心の教育の充実	一人ひとりのよさを発揮し、認め合う集団づくり ・学校いじめ防止基本方針に基づきいじめの防止	道徳の時間を要として、教科等と関連を図りながら、計画的・継続的に道徳教育を充実させる	全学級が道徳の年間計画通りに確実に実施する	実践報告	毎月 毎学期	○	全学年、計画通り道徳の授業を実施した。	○ 子どもがすすんであいさつできる習慣をつけるために、学校、地域、家庭が登下校時やあらゆる機会を見つけていっしょに取り組むことが大切である。 ○ 不登校やいじめは、対応が難しいが、学校と家庭、地域とが情報をしっかりと共有し、子どもの気持ちに寄り添った対応をすることが大切である。
			物事を最後までやりきる成就感、達成感が得られるようにし、自尊感情を醸成する	「自分にはよいところがある」「人の役に立ちたい」の肯定的な回答の割合が昨年度より増加	学びの診断	年度末	△	「人の役に立ちたい」と回答している児童は94.9ポイントで堺市平均を上回っているが、昨年より1ポイント下回った。「よいところがある」は77.7ポイントで昨年より3ポイント下回った。	
			学校いじめ防止基本方針に基づき、校内体制の見直しを行い、いじめの未然防止、早期発見、解決に取り組む	「いじめはいけない」と回答する児童の割合が増加	生活アンケート 学びの診断	毎学期 年度末	△	「いじめはいけない」は96.7ポイントで高い値ではあるが、昨年より下回った。	
体力向上	生活習慣を整え、体力を向上させる	・体育の活動内容の工夫と運動量を確保する授業づくりを行う・体育委員会で楽しく体を動かす機会を設定する	新体力テストの結果が堺市平均を上回る	アンケート 学びの診断	毎学期 年度末	○	新体力テストの結果が昨年より4ポイント程度上がっている。	○ かけあしや休み時間も先生が子どもといっしょに走ったり遊んだりしてくれるので、運動場で運動する子どもが多く、体力向上にもつながっている。睡眠時間を十分に確保するために、早く寝ることの大切さを学校・家庭がよく理解して眠育に取り組んでいくことが大切である。	
			東っ子健康カードを活用し、家庭と連携して基本的な生活習慣を確立する	早寝早起きなど基本的な生活習慣の肯定的割合の増加	学びの診断	年度末	△		遅刻する児童はほとんどいないが、早寝をする児童は年々減少している。
(地域協働)	安全安心な学校	安全安心で良好な教育環境の整備	学校安全計画に基づき、安全指導や安全管理に取り組み、事故の未然防止や危機管理意識の向上を図る	避難訓練、安全点検等を適切に実施するとともに毎日の安全点検を実施する	実践報告	毎月 毎学期	○	避難訓練や不審者対応訓練、遊放時の避難訓練、防災訓練を実施した。	○ 年末本年度は地震や台風被害など、災害が多い年であった。地域の防災フェスタに参加するなど、地域行事に子どもが参加することで、子どもだけではなく、地域の大人にも防犯意識を高める効果があった。子どもの安全や事故の防止のために今後も、学校、家庭、地域が連携を深め、子どもの見守り活動に取り組んでいくことが大切である。
			地域人材を積極的に活用し、堺版コミュニティースクールづくりを推進する	五箇荘東コミュニティースクールを構築する	実践報告	年度末	○	地域の方のご協力のもと、五箇荘東コミュニティーを構築し、学級菜園を整備した。	

校長より (年度末)

学力部、生活部、体力部が中心となって「確かな学び」や「豊かな心・健やかな体の育成」の今年度の目標に主体的に取り組む、達成状況の振り返りを全職員で行い、成果と課題を共有することができた。来年度は明らかになった課題の解決に向けて、教職員が一丸となって目標を達成できるように取り組みを進めたい。

学校関係者評価から (年度末)

学びの診断結果や学校アンケート結果から昨年度とほぼ同程度の達成率であり評価できるが、この状態で満足せずさらに向上できるように取り組みを進めてもらいたい。また、学校・家庭・地域が協力して具体的な取り組みを通して連携を深め、健全な子どもの育成を図りたい。